

阿蘇火山における地球化学的観測*

Geochemical observation at Aso Volcano

九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター**

Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Sciences, Kyushu University

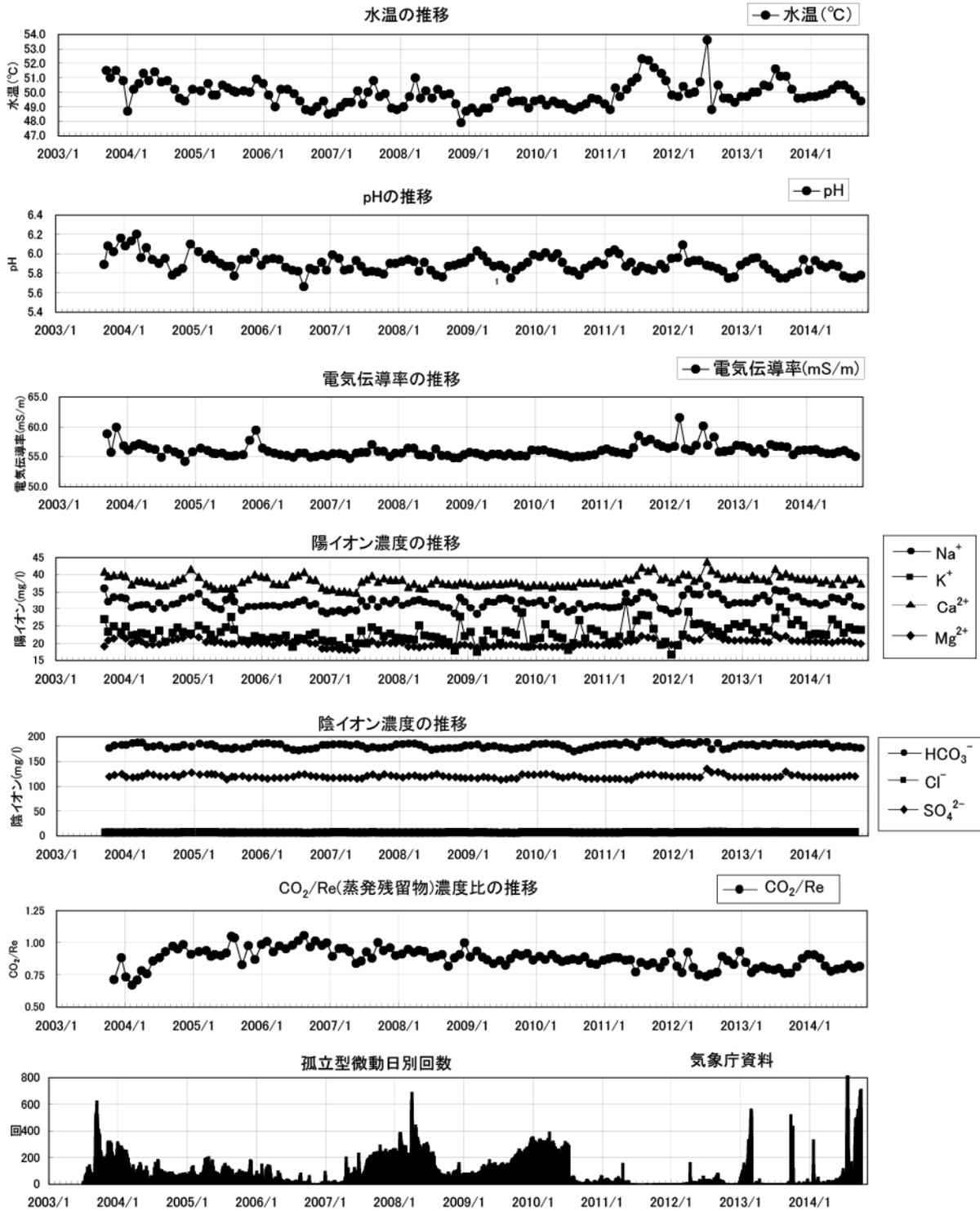
九州大学地震火山観測研究センターでは、垂玉温泉山口旅館本湯における温泉観測を、通常月に1回程度の頻度で実施している。観測源泉は中岳火口から、南西約5kmに位置しており、含硫黄-カルシウム-炭酸水素塩泉（硫化水素型）に分類される。

2003年9月以降の観測結果を、孤立型微動日別回数（気象庁資料）とともに第1図に示す。第2図には、2011年1月以降の観測結果を示している。

垂玉温泉の水温は、今年の7月頃から、やや低下傾向を示し、pHや溶存イオン濃度類は安定して推移している。溶存二酸化炭素相対濃度（二酸化炭素濃度/蒸発残留物濃度）は、2013年10月頃から上昇傾向を示し、2014年1月頃をピークに減少した。孤立型微動が漸増し始めた同年5月頃からは、ごく僅かながら増加している。

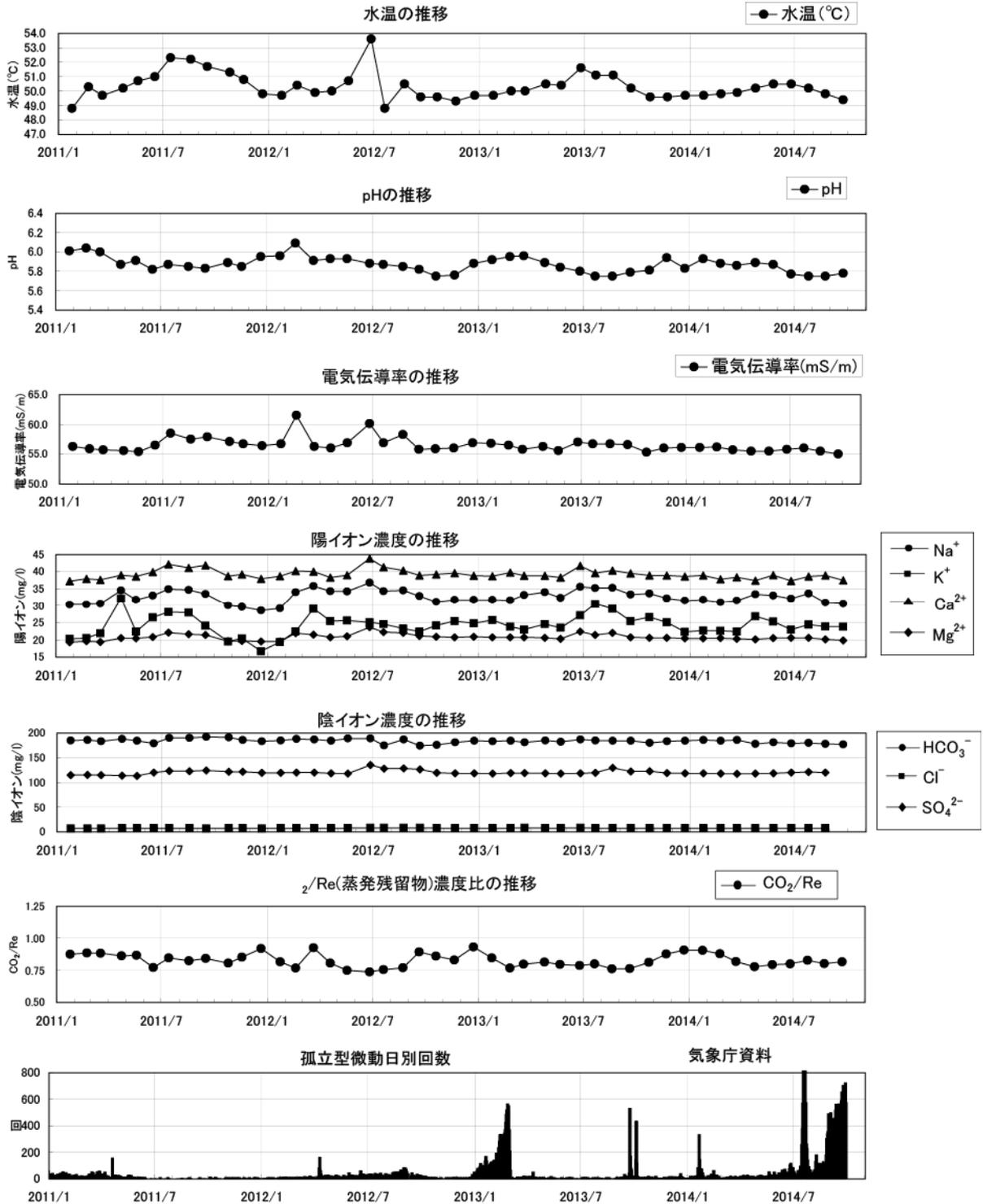
* 2014年12月15日受付

** 福井理作・清水 洋



第 1 図 垂玉温泉山口旅館(本湯)の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO₂/Re(蒸発残留物)濃度比の推移．孤立型微動日別回数は気象庁資料．

Fig.1 Changes in temperature, pH, electrical conductivity, main chemical component concentration and CO₂/Re (evaporation residue) concentration ratio at Yamaguchi Japanese Inn (Motoyu) of the Tarutama hot-spring. Daily number of the isolated tremor is from the JMA.



第 2 図 垂玉温泉山口旅館(本湯)の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・ CO_2/Re (蒸発残留物)濃度比の推移(2011年1月～)。孤立型微動日別回数は気象庁資料。

Fig.2 Changes in temperature, pH, electrical conductivity, main chemical component concentration and CO_2/Re (evaporation residue) concentration ratio at Yamaguchi Japanese Inn (Motoyu) of the Tarutama hot-spring(January 2011 ~). Daily number of the isolated tremor is from the JMA.